

令和7年度農作業安全ポスターデザインコンテスト

目 次

農作業安全ポスターデザイン募集！

実施要領

応募用紙 pdf 版 （→ 応募用紙 Excel 版）

ポスター作製様式

参考資料（農林水産省作成資料）

農作業安全 ポスター

デザイン募集！

過去の農林水産大臣賞受賞作品



令和6年



令和5年



令和4年



令和3年



令和2年



令和元年



平成30年



平成29年

募集期間：8月29日まで

受賞作品は、全国の農村部で掲示される「農作業安全ポスター」として使わせていただきます

応募資格者：どなたでも 最優秀賞：農林水産大臣賞
応募方法の詳細：以下のホームページをご覧ください

日本農業機械化協会

検索 ↓

または右のQRコードから



農林水産省 農作業安全総合対策推進事業

実施機関 一般社団法人日本農業機械化協会 株式会社日本農業新聞

令和7年度農作業安全ポスターデザインコンテスト実施要領

1. 表彰行事の名称

令和7年度農作業安全ポスターデザインコンテスト

2. 目 的

近年、農業就業人口が減少する中、農作業死亡事故者数は毎年250件前後で推移しており、就業人口あたりで見るとむしろ増加傾向にある中、農作業事故防止に向けた対策を強化し、事故件数を減少に転じさせることが極めて重要な課題となっています。

このため、農作業安全確認運動の一環として、農作業安全に対する国民意識の醸成及び効果的な推進を図ることを目的とした農作業安全ポスターデザインコンテストを開催することとし、優秀な作品についてこれを表彰するとともに、農林水産大臣賞受賞作品については、農作業安全運動啓発ポスター等に採用いたします。

3. 実施主体

一般社団法人日本農業機械化協会

4. 共 催

株式会社日本農業新聞

5. 後 援

農林水産省、農研機構・農業機械研究部門、一般社団法人日本農業機械工業会、全国農業機械士協議会

6. 表彰点数

農林水産大臣賞	1点(賞状、農作業安全運動啓発ポスター等に採用予定)
日本農業機械化協会賞	1点(賞状)
日本農業新聞賞	1点(賞状)
入賞	10～20点

7. 募集内容

テーマ：『忘れていませんか？ 安全対策』

農作業中の死亡事故が多発している状況が継続しており、特に乗用型トラクターをはじめとする機械の転落・転倒による死亡事故が多くを占めています。

このことから、ポスターは農業機械使用にあたっての安全を呼びかける内容とし、機械の転落・転倒防止とシートベルトやヘルメット等万一の場合の防護策について記載してください。(これら以外の内容を加えても差し支えありません)。

また、テーマについても、ポスターに必ず記載してください。なお、デザインについては、未公表でオリジナルのものに限ります。

募集対象 絵画・イラスト・CG・写真などの平面作品

応募資格 制約なし

応募点数 制限なし(ただし、作品1点につき、必ず応募用紙1枚を記入して下さい)

作品サイズ 応募作品は必ず「A 4 又は A 3 サイズ・タテ」で応募して下さい。
なお採用された作品は「B 2 サイズ・タテ」で印刷・掲示するので B 2 判で印刷されることを想定したデザインにして下さい。

8. 応 募

応募しようとする者は、応募作品とともに別紙の応募用紙に必要事項を記入し、作品とともに下記の応募先へ郵送又はメールにて提出するものとします。メールで応募する場合、容量の上限は 7 MB までとし、それを超える場合は電子媒体 (CD-R 等) で郵送にて提出して下さい。

応募先住所：〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16
一般社団法人日本農業機械化協会
ポスターデザインコンテスト事務局 宛
応募先アドレス：poster@nitinoki.or.jp

9. 応募期間

令和 7 年 6 月 2 日 (月) ～ 8 月 29 日 (金) (当日消印有効)

10. 審 査

表彰の候補を適正かつ円滑に選定するため、農作業安全対策に関し学識経験等を有する委員等で構成する審査委員会を設置します。

審査委員会の委員は、日本農業機械化協会会長が委嘱するものとします。審査委員会の長 (以下「委員長」という。) は、委員の互選によりこれを定めます。

審査委員会は、コンテストの応募テーマに照らして審査し、表彰の候補を選定します。

その他、審査委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が定めるものとします。

11. 受賞作品の公表

受賞作品は、本年 10 月頃に農林水産省ホームページ、日本農業機械化協会ホームページにて公表することとします。なお、受賞作品の公表に当たっては、受賞者の住所 (都道府県名のみ) 及び氏名 (ペンネーム可) を併せて公表します。

12. 表彰式

- (1) 「農林水産大臣賞」、「日本農業機械化協会賞」及び「日本農業新聞賞」受賞者を対象に表彰式を実施します (本年 10 月を予定)。
- (2) 上記以外の入賞者に対しては、ホームページでの公表をもって表彰に代えることとします。

13. 受賞作品の活用

農作業安全対策の推進に資するため、農林水産大臣賞受賞作品については、原則として農作業安全運動啓発ポスター等に採用します。また、受賞作品については、農林水産省ホームページや日本農業機械化協会ホームページ、日本農業新聞紙面に掲載するなど、広く紹介します。

14. 注意事項

- ・ 応募に際して事実関係の誤認を含む作品や、誤った表現に注意して下さい。
- ・ 応募作品は、応募者又は応募者が本コンテストに応募することについて同意した者が、自らの着想に基づき制作した未発表のものに限ることとします。

- ・ 知的財産権など第三者の権利を侵害するものは、応募作品とすることができません。第三者の知的財産権を侵害する疑いのある作品については、審査結果後であっても受賞を取り消すことがあります。
- ・ 入賞作品に関する一切の知的財産権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定められる権利を含む。）は日本農業機械化協会に帰属することとし、応募者は、日本農業機械化協会が入賞作品に関して行う、利用、管理、処分等の行為について、著作者人格権を行使しないものとします。
- ・ 応募作品について、著作権等に関する争議が生じた場合、日本農業機械化協会は一切責任を負うことができません。
- ・ 写真を使用し、人物が被写体となっている場合、あらかじめ被写体の方の承諾を得て応募して下さい。
- ・ 作品は折り曲げたり丸めたりせずに送付して下さい。
- ・ ポスター作成の際、受賞者と相談の上、オリジナリティを損なわない程度に修正・補作することがあります。
- ・ ポスターの下部に、農作業安全の研修に関する記載を追記するため、作製様式の余白箇所は空けて作製してください。
- ・ 審査状況や審査結果に関する問合せには原則として応じられません。
- ・ 応募作品は原則として返却はいたしません。

一般社団法人日本農業機械化協会

農作業安全ポスターデザインコンテスト事務局

TEL:03-3297-5640（直通）

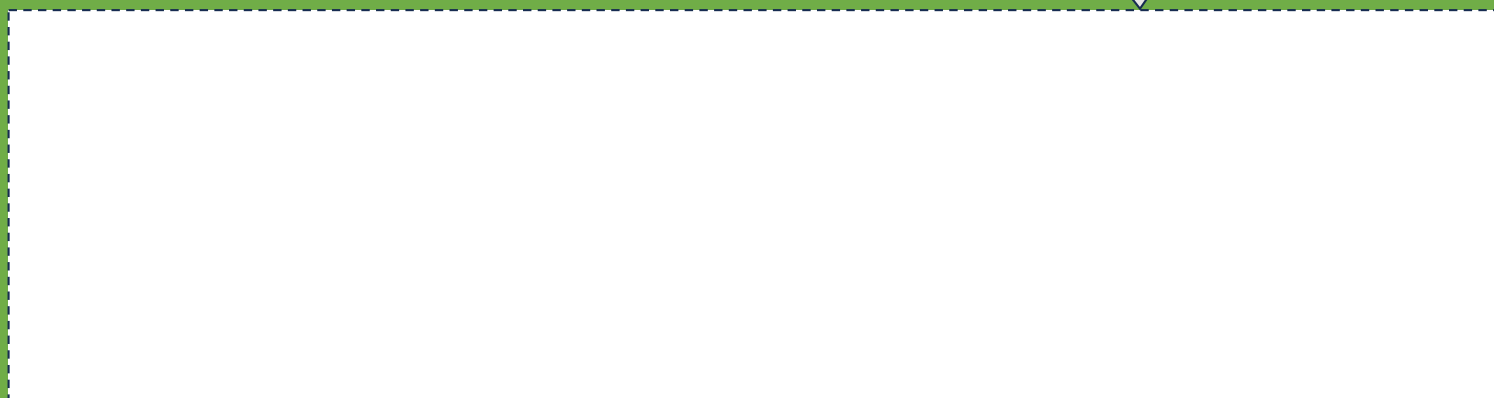
e-mail:poster@nitinoki.or.jp

令和7年度農作業安全ポスターデザインコンテスト応募用紙

1.氏名 (優秀作品に選ばれて作品が公表される際、著作者名のペンネームでの公表を希望する場合、そのペンネームも記載すること)	(フリガナ) 		
2.住所			
3.年齢	歳	4.職業	
5.電話番号 (日中連絡がつくもの)			
6.メールアドレス	@		
7.共同制作者氏名 (いる場合のみ)			
8.ポスターとなった場合、どこに貼ってもらいたいのか (例：市町村役場、直売所など)			
9.作品のポイント			

ポスター製作様式

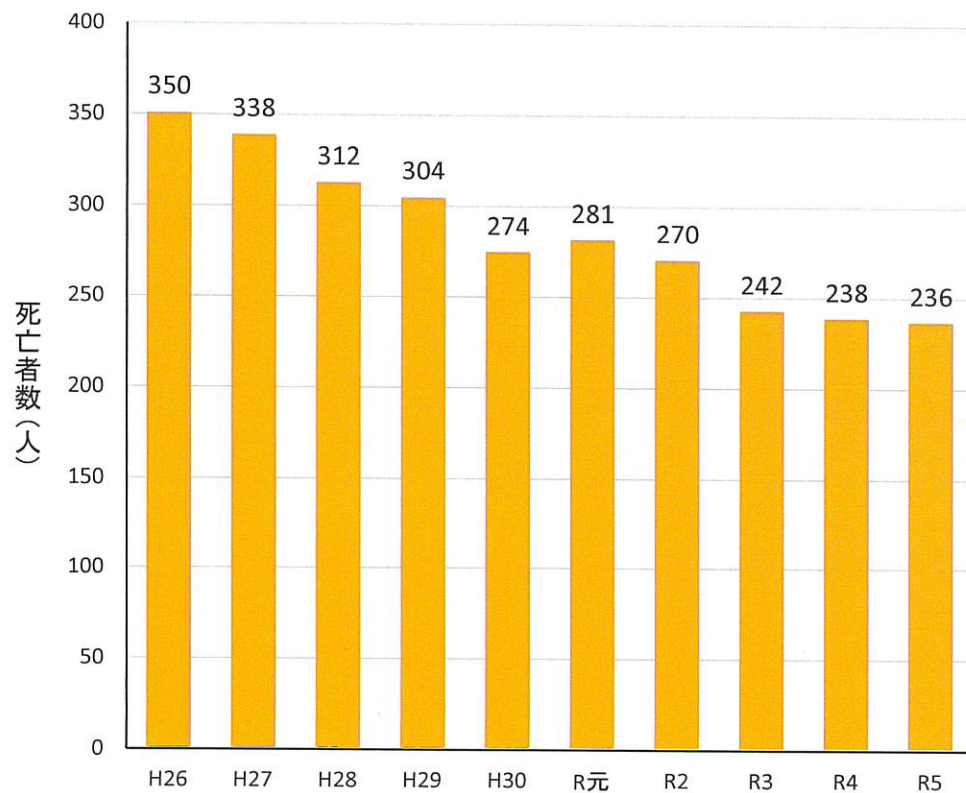
- ・ポスターデザインには、以下のように様式の下側に余白を設けてください。
(A 3であれば縦8 c m×横2 5 c m程度)



令和5年に発生した農作業死亡事故の調査結果

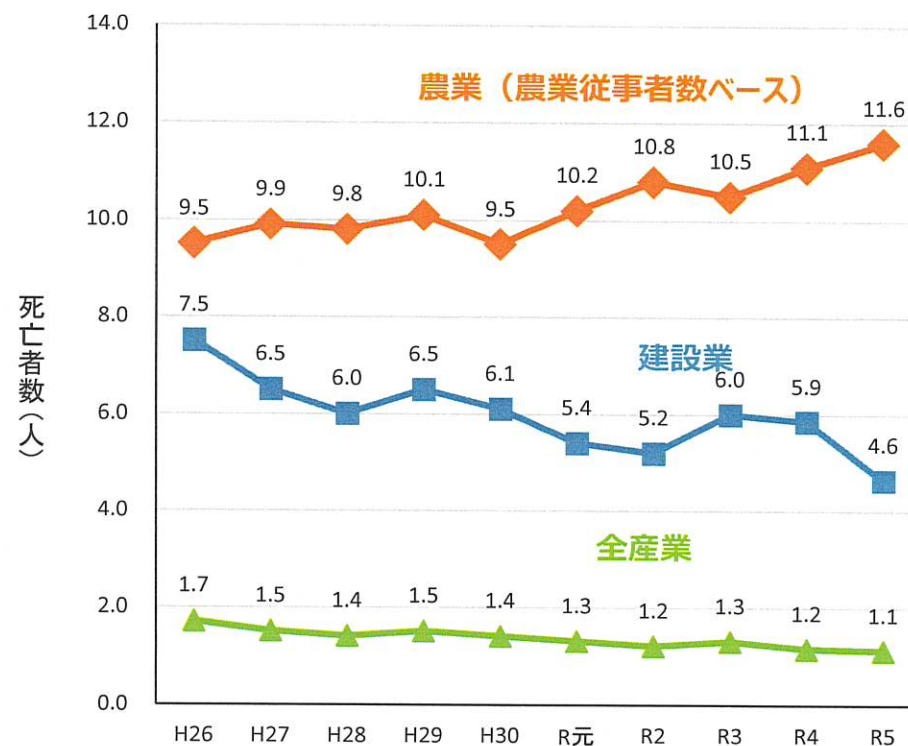
- 令和5年の農作業事故死亡者数は236人であり、前年（令和4年）と同水準。
- 就業者10万人当たりの死亡事故者数は11.6人と依然として増加傾向にあり、他産業に比べて高い状態が継続。

農作業事故死亡者数の推移



農作業死亡事故調査（農水省）

就業者10万人当たり死亡事故者数の推移



死亡者数 農 業：農作業死亡事故調査（農水省）

他産業：死亡災害報告（厚労省）

就業者 農 業：農林業センサス、農業構造動態調査（農水省）

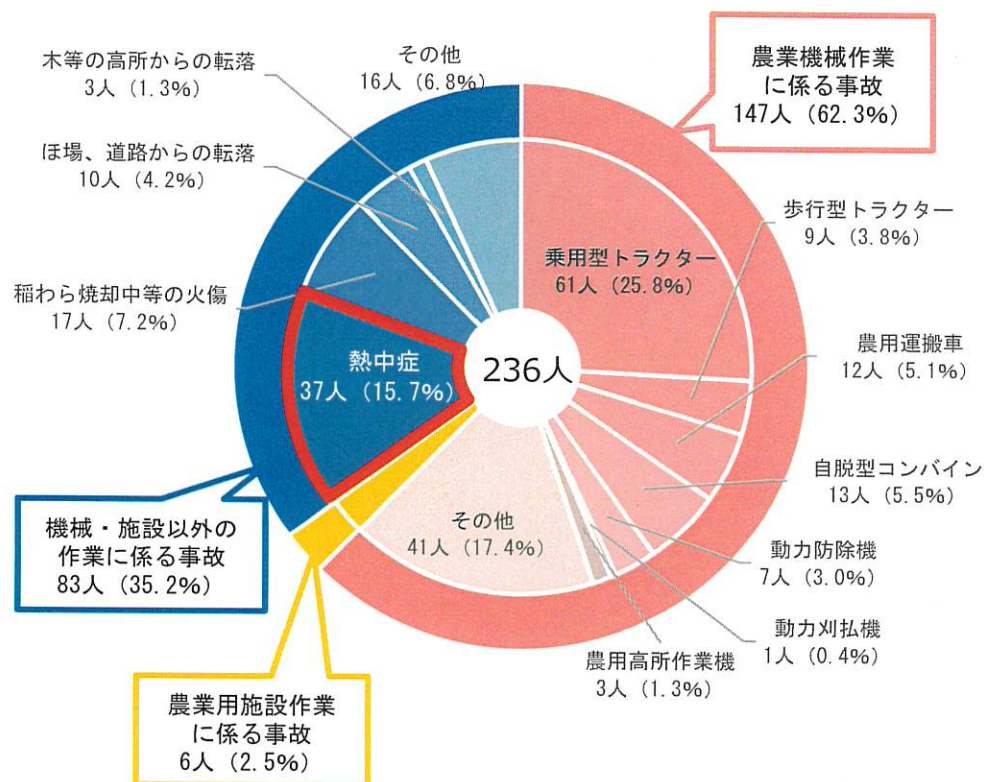
他産業：労働力調査（総務省）

（注）就業者10万人当たり死亡事故者数の算出において就業者として使用していた農業就業人口の調査が令和元年で終了したため、令和2年から農業従事者数を使用して算出。

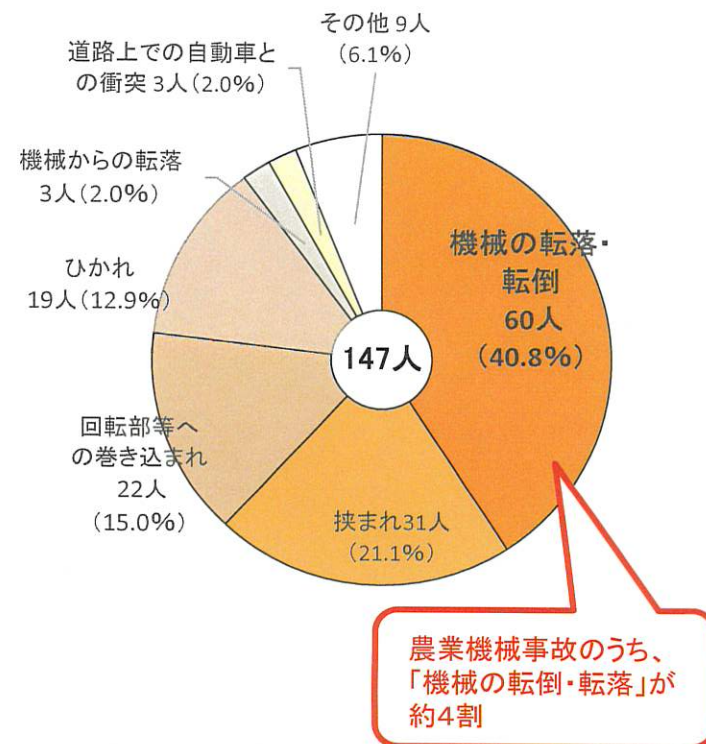
農作業事故発生の要因分析①

- 農作業死亡事故を要因別にみると、「農業機械作業に係る事故」が147人（全体の62.3%）と高い状態が継続。
- 農業機械作業に係る死亡事故の要因としては、「機械の転落・転倒」が60人（機械事故の40.8%）を占めている。
- 機械・施設以外の作業に係る事故では「熱中症」が37人（機械・施設以外の作業に係る事故の44.6%）と最も多い。

要因別の死亡事故発生状況（令和5年）



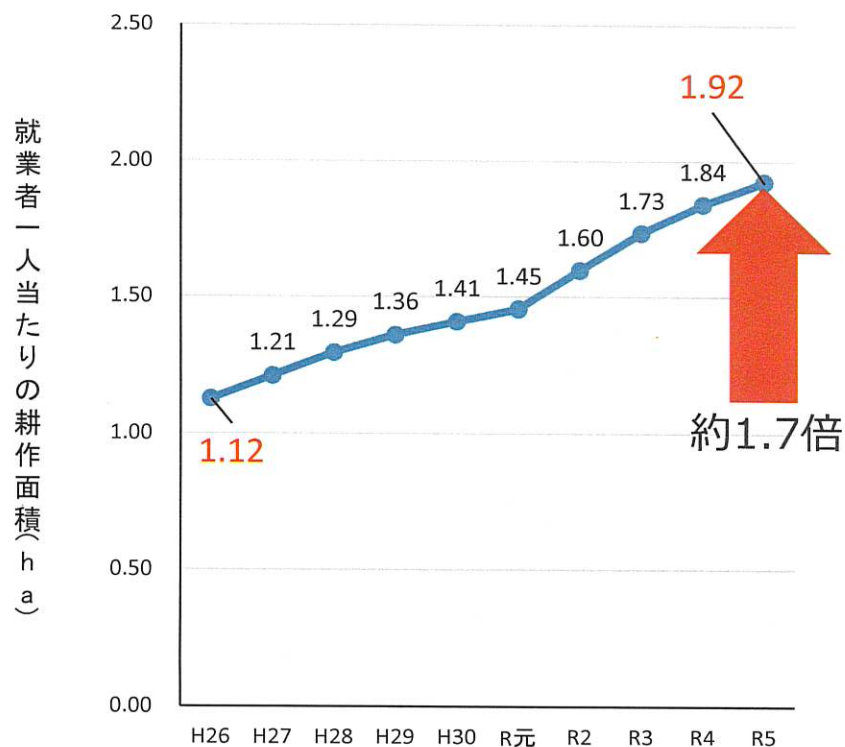
農業機械事故による死亡の要因（令和5年）



農作業事故発生の要因分析②

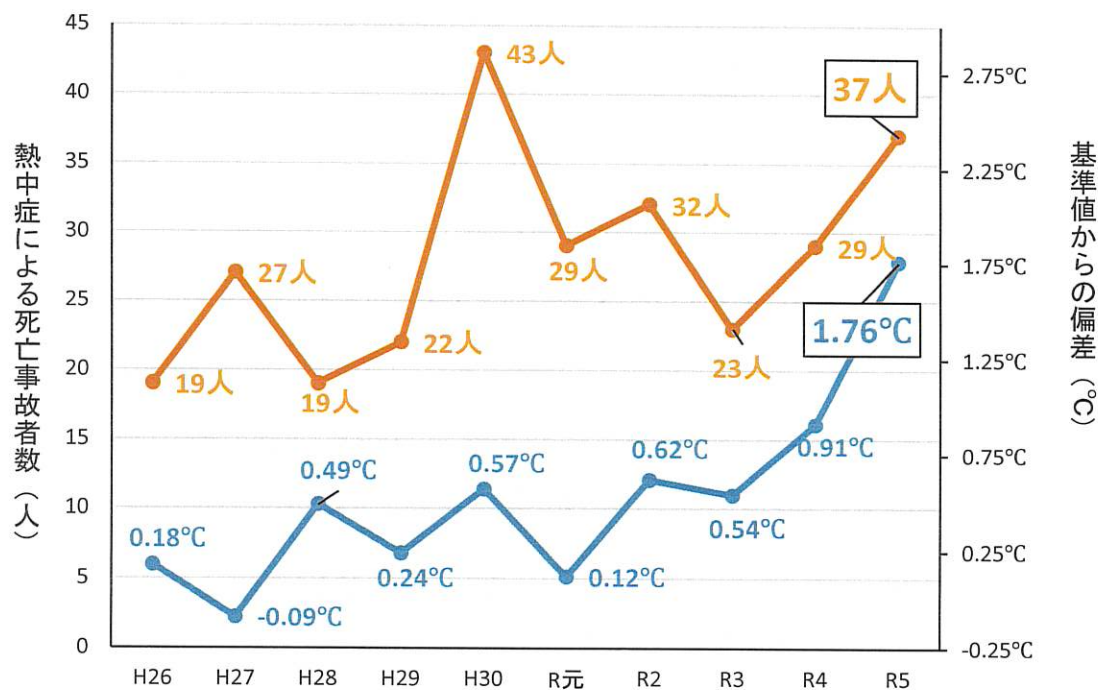
- 就業者一人当たりの平均耕作面積は10年前と比べて約1.7倍に上昇。死亡事故リスクの高い農業機械を扱う就業者当たりの作業面積も急増していることが想定され、これが10万人当たりの死亡事故者数の増加要因の一つとなっている可能性。
- また、近年、死亡事故要因のうち熱中症の人数が増加傾向。我が国の夏季の気温が上昇傾向にあり、生産現場の熱中症リスクが高まっていることも、10万人当たりの死亡事故者数の増加要因の一つとなっている可能性。

就業者一人当たりの平均耕作面積
(平成26年～令和5年)



耕作面積：面積調査（農林水産省）
就業者：農林業センサス、農業構造動態調査（農水省）

熱中症による死亡事故者数の推移と
夏(6-8月)における平均気温の基準値からの偏差※
(平成26年～令和5年)

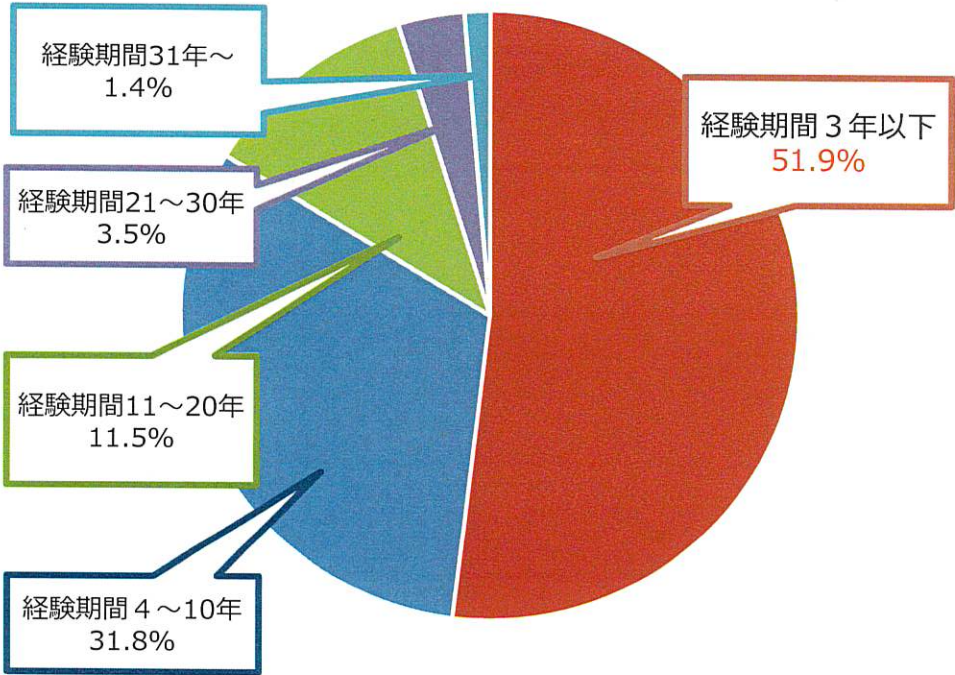


熱中症の割合 基準値からの偏差
死亡者数：農作業死亡事故調査（農水省）
平均気温の基準値からの偏差：日本の季節平均気温偏差（気象庁）
※基準値は1991～2020年の30年平均値。

農作業事故発生の要因分析③

- 令和5年の労働者死傷病報告（厚生労働省調べ）の分析を通じ、労働者における農作業事故の発生割合は経験期間が3年以下の者が過半を占めていること、その年齢は50代以上で事故発生割合が高まることが判明。
- 農作業経験が短い者（未熟練農業者）の事故発生リスクが高いという傾向は、労働者ではない農業経営者であっても当てはまる可能性。

農作業事故の経験期間別発生割合（令和5年）



経験期間が3年以下の労働者における農作業事故発生割合（令和5年）

	29歳以下	30代	40代	50代	60～64歳	65歳以上
経験期間3年以下の労働者における事故発生数(件)①	131	76	59	65	37	80
経験期間3年以下の雇用就農者(人)②	11,790	5,810	5,520	3,910	2,170	2,240
事故発生割合①/②	1.1%	1.3%	1.1%	1.7%	1.7%	3.6%

経験期間3年以下の事故発生数：労働者死傷病報告（厚生労働省）を基に農林水産省で算出
新規雇用就農者：新規就農者調査（農林水産省）を基に算出

労働者死傷病報告（厚生労働省）を基に農林水産省で分析

参考となる資料（ホームページ）のご紹介

ポスターを作成する際の参考にしてみてください。

○ 「農作業安全対策」のページ（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/index.html

○ 熱中症対策について（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nchu.html

○ 農作業安全のための指針（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/index-51.pdf

【農作業安全のための指針参考資料】 個別農業機械別留意事項

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/index-49.pdf

○ 全国農作業安全確認運動（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/undo.html

○ 農作業安全対策全国推進会議（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/zennkoku.html

○ 農作業安全の啓発資料

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/siryo.html

○ 作業機付きトラクターの公道走行について（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/kodosoko.html

○ 農作業安全情報センター（（国研）農研機構革新工学センター）

<https://www.naro.affrc.go.jp/org/brain/anzenweb/index.html>

都道府県、市町村、農業関係団体、農業機械メーカー等でも農作業の安全のための取組を行っています。